

森林インストラクター東京会

Home

Forest Instructor Tokyo 頭文字をとって FIT(フィット)と呼ばれています

森林インストラクター資格取得支援講座

「林業-実習」

2019年6月23日(日) 曇りのち雨 奥多摩町 鳩ノ巣フィールド

森林インストラクター資格取得支援講座7日目(最終回)「林業-実習」を森林施業現場の鳩ノ巣フィールドで実施しました。朝から空模様が気になるなか、鳩ノ巣駅下車後「鳩ノ巣フィールド」に集合、関講師からの安全上の注意とフィールド内での遵守事項の説明を受けました。また、観天望気のお話しをしていただきました(地元の方の目線にて)。

午前中、時折雨は降りましたが、鳩ノ巣の森が傘代わりとなり濡れることなく、鳩ノ巣フィールドを見学する事が出来ました。また、以下の説明がありました。

- ・鳩ノ巣フィールドの森林タイプ、分布について
- ・広葉樹の人工林、針葉樹の人工林、天然更新の二次林、森の多様性(フェールドサイン)について
- ・林床の植生、立地環境による樹形の変化、環境要因による個体差について
- ・枝打ち、皮むきの意図、注意点について
- ・土砂崩壊、流出防止機能について
- ・鳩ノ巣フィールドの面積や歴史、文化について
- ・フィールド別の試験的な伐採・植樹・人工/天然の整備・経過観察の方向性について
- ・樹木の生き様(最後の踏ん張りで子孫を残そうとしているヤマボウシ)について
- ・樹木の胴吹き、ひこばえはなぜ起こる(根一枝・葉の生命比率)?生きることに諦めることは有る?(虫、食害、伐採等の環境要因にからんで)
- ・側方下種法によるスギの切り株に乗ったスギの実生について



安全上の注意とフィールドの説明

午後は、林業作業体験(鋸での玉切り)を予定していましたが、雨が降り出し雨プロに変更しました。

午前中の観天望気の通りの結果になりました。雨の日しか見る・感じる事が出来ない事、森林の生き様を知って自分達の糧となるお話を聞きました。また、以下の説明、質問形式の講義でした。

- ・最新の森林・林業白書のトピックスについて
- ・雨(水)/森林(樹木)/雨の行方について
- ・花に無い色2色とは?
- ・花は目立つように、種は目立たないように(黒、茶)にするのはなぜ?
- ・樹木が高いメリット・デメリットを各3点で考えてみよう!!
- ・枝打ちの意味、注意点
- ・針葉樹・広葉樹の分布、樹形、光の取込み方、雨の集め方、根の張り方の戦略とは!!



午後は雨プロ【林内雨について】

講座の最後に友の会会員の声を伺いました。

- ・針葉樹と広葉樹は、分類学上 界->門と続く分類で、門で分かれることが新鮮で驚きだった
- ・日本の林業は急斜地で大変な作業の割に、林家の収入が少ない(伐採-運搬-製材-家屋)ことが分かった
- ・森林インストラクターの立場になったら林業の急斜面作業の大変さを伝えたい

- ・雨天の森、林床、樹の香りが晴れている時より強く感じた
- ・ケンポナシ（コクサギ型葉序）の葉を見てイメージが掴めた
- ・樹木（葉、枝）の特性を、イメージとして覚える必要性を感じた
- ・針葉樹、広葉樹の雨の受け方に違いがあることが分かった（林外雨、林内雨、蒸発、樹幹流の比率）

今回も、資格取得の基となる養成講習テキストの内容と、現実の林業フィールド（森の多様性・神事・地域の歴史・文化等）が重なり合う内容で分かりやすい講座でした。関講師ありがとうございました。

講師：関 美知夫さん

参加者：氏家さん、久保さん、田代さん、福山さん、古谷さん、星野さん

スタッフ：芝原、槇田（事務局）

（報告：FIT友の会運営スタッフ 芝原 久）



広葉樹の人工林【植樹したコナラ】



植林したヒノキ林【個体管理して遷移を観察】



切り株上のスギの実生を観察



切り株上のスギの実生【側方下種更新】



ヒノキの人工林【枝打ちについて】



広葉樹の天然生林【意図的に人手を入れない】